

こうとう民報

2014年10月号 120

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



住民本位の区政めざして 江東区職労定期大会

10月9日江東区職員労働組合は、ティアラこうとうで第63回定期大会を開催しました。

内田敬三委員長の経過報告

人事院が7年ぶりに「国家公務員給与引き上げ」を勧告。大企業中心の民間賃金引上げを反映した「賃上げ」をアベノミクス効果の一つともいわれているが、恒久的賃下げを強制する「給与制度の総合的見直し」も同時に勧告され、アベノミクスの恩恵を受けているのは一部富裕層と多国籍企業だけだ。
4月以来、消費税8%に引き上げられ、諸物価が上昇し国民生活がむしる悪化している。

すがや俊一区議来賓挨拶

10月の決算委員会の特徴は毎年職員の削減と区立保育園問では、集団的自衛権の行使容認の閣議決定について「反対」の世論が広がっていること、立憲主義を守る立場から

《第3回定例会》

政府に追従して 区民生活切り捨てる山崎区政の保守政治家からも批判の声が上がっていることなどを示し、本区の「平和都市宣言」と相いれない集団的自衛権の閣議決定の撤回を求めよ」と迫りました。

消費増税の中止を求めよ

消費増税と区内中小業者振興についての質問では、「暮らしにくい」「売り上げが減った」など区民の悲

集団的自衛権行使容認の撤回を求めよ

そえや良夫議員の本会議質

託経費の増額で一部中止になっている。江東区では検討・中止を強く求めたが、区はあくまでも姿勢を変えていない。最後にすがや区議は「みな

「地域労働こうとう」定期大会 労働法制の規制緩和に反対し、生活と権利、暮らしを守る先頭に

9月27日、「地域労働こうとう」は、第6回定期大会を江東文化センターで開催しました。



小倉委員長は、「昨日組合員が200人を突破し、CU全体でも640人となった。事業所の中で組織化が進んでいるのが特徴。引き続き組織化を強め牽引者として頑張ろう」と報告しました。

連帯の挨拶で、名越江東区労働議長は、労働者の年収が97年の467万円から413万円に54万円も下がった。年収200万円以下の労働者が1090万人にもなっている。

労働者の賃金・労働条件引き上げのために労働者の組織化を高めようと強調。「数は力で組織拡大の取組みを強めようと呼びかけました。そえや良夫区議は、地域労働が労働相談で大きな役割を果たし成長して来ている。

江東区の業務委託で働く労働者の賃金は、正規労働者の半分以上でピンハネしているとも言える。こうした実態を改善するには、公務の労働者と民間の労働者が一緒に取り組むことが必要と挨拶しました。

日本列島は、広島の上石流や御嶽山噴火、台風の連続襲来など、次々と自然災害に見舞われ、多くの人命が犠牲になっ

脚懸

ています。7日、ノーベル物理学賞にはLED開発と実用化に成功した日本の3氏の受賞が決定しましたが、10日の平和賞では、パキスタンのマラさんとインドのカイラシユ氏が選ばれました。海外メディアも最有力候補とした「憲法9条を保持した日本国民」の今回の受賞を妨げた要因には、9条をふみにじり地球規模の日米安保体制をめざす政府の企みがあることは明白。加えて、地方議会での改憲促進決議 江東では党区議団の奮闘で阻止、公民館だよりへの9条俳句の掲載や自治体まつりへの9条の会の出店などが拒否される事実もあります。さらに、イラク戦争が産み落とした「イスラム国」では、アメリカ製の武器を使ったテロが猛威をふるい、日本の青年も戦闘に参加して負傷、また、就職に失敗した北大生の志願と彼を手引きするおぞましい存在も明らかになりました。この事態に、東京では「9条の会」などが10月統一行動に決起し、連日のように各地で宣伝・署名行動や交流・学習会が実施されています。江東・夢の島でも11月1日から3日間「赤旗まつり」が開催され、沖縄県知事選も本番を迎えます。9条を守り世界にひろげる国民的共同的力を示すチャンスになるでしょう。

「深川魚市場と
深川正米市場」

概説
江東の歴史
(38)



黒江町の深川魚市場

江戸時代に獺師町8カ所としてひらけた佐賀、永代のあたりは、漁業がさかんで幕末には16軒の仲買人が魚を販売していました。

明治政府は、日本橋など10カ所に魚市場をつくらせました。1880(明治13)年、蛤町、大島町(永代2丁目)の漁民は、魚市場の開設を東京府に願いで、「深川魚市場」を38人の問屋で開設。会所は大島町におかれました。市場は毎朝4時ごろはじまり、黒江町(門前仲町1丁目)では夕方から市場がたちました。この市場は、生簀(いけす)の生きのよい鮮魚の取引で知られていましたが、関東大震災後に完成した築地市場に移りました。

海苔の養殖は、明治以後に越中島や葛西村地先の海面が養殖場となり、さかんになります。深川沖では牡蠣の養殖、砂町では池で鯉、鰻の養殖と大正からは金魚の養殖などがおこなわれました。

米の取引は、天保改革で問屋の解散から混乱がつづきました。政府は、渋沢栄一と従兄・渋沢喜作にその処理を命じました。

中心となった喜作は、全国の米の荷受けと回送をひきうけ、深川の各藩の倉庫に運ぶなどして、米の取引制度を再建しました。

1884(明治17)年、政府は深川に米穀取扱所をつくり、喜作ら5人に米問屋を整理させて、2年後に廻米問屋組合により佐賀に正米(米穀の現物売買)市場を開設。東京の米の供給はこの廻米問屋とその協店で取り扱われることになりました。

佐賀1丁目におかれたこの市場では、仲次人の手を経て誰でも米を買うことができましたが、1941(昭和16)年の戦時食糧統制によって廃止。震災後再建された建物は食糧ビルとして残っています。浜園町(塩浜1丁目)には、1925(大正14)年、内地米と輸入米を扱う食糧事務所の倉庫がつけられます。19棟、延べ33万平米もある倉庫は、現在は農水省倉庫として残っています。

行事日程

- 11月9日(日) 13時
「なんでも相談会」
北砂公園・砂町文化センター
- 11月15日(土) 13時～15時
「消費税増税反対宣伝行動」
亀戸駅西口・江東革新懇
- 11月16日(日) 10時
「高齢者集会」総合区民センター
- 11月21日(金) 18時45分
「増税ノー！憲法守れ！江東区民集会」猿江公園
- 11月27日(木) 19時
「江東社保協学習会」江東文化センターホール

江東区女性後援会都議会傍聴とオリンピック予定会場視察バスツアー
あぜ上都議 代表質問
議会改革！大型開発からの脱却を！



代表質問にたつあぜ上都議

9月24日、江東区女性日本共産党後援会は、「都議会傍聴&オリンピック会場視察バスツアー」をおこないました。
代表質問にたつたあぜ上都議は冒頭、女性への人権侵害ヤジ問題を取り上げ、事実解明と再発防止、男女平等参画に取り組むことを呼びかけ、都議会規則に「人権侵害」発言をしてはならないことを明確に明記することを求めました。また政務活動費の不正使用が全国的に問題になっていることにも触れ、飲食をとむなう活動への支出を禁止すること、費用弁償の原則廃止を求めました。
子育ての問題では、認可保

育園の半数以上に園庭がないことを指摘し、園庭のある保育園の増設を提案しました。傍聴参加者からは「こういう問題(ヤジ)ができること自体、都民として恥ずかしい」「待機児は一刻も早く解消してほしい」との声が寄せられました。

第三回定例会を終えて

日本共産党都議
あぜ上三和子

第三回定例会の大きな焦点の一つは、東京都長期ビジョンでした。保育園の4万人分の増設や特別養護老人ホームの増設及び福祉施設整備のための都有地活用等を盛り込ませることができたのは、大きな前進です。同時に、このビジョンは、大型開発や国際金融センター構想等、大企業が儲ければ全てうまくいくといった根本的問題も抱えています。前進面は評価しさらに前進させる、問題点は厳しく指摘し改善させる、この立場で引き続き頑張ります。

川内原発がある地元、反原発・かごしまネット代表の向原さんは「安部首相は7月18日、九州電力の社長とあつて『川内(原発)は、なんとかするよ』と話しました。まだ



9月23日、地元江東区の亀戸中央公園で「さよなら原発1000万人アクション」主催の「川内原発再稼働するな！フクシマを忘れない！さよなら原発全国大集会」が開催され1万6千人が集まりました。

川内原発がある地元、反原発・かごしまネット代表の向原さんは「安部首相は7月18日、九州電力の社長とあつて『川内(原発)は、なんとかするよ』と話しました。まだ

規制委員会が審査中にも関わらずです。自ら規制委員会が骨抜きにされていることを暴露しているのです」と怒りを込めて訴えました。
5月に地元紙がおこなった世論調査では、59%の人が川内原発の再稼働に反対を表明。川内原発から30キロ圏内の自治体では、再稼働に反対する決議や廃炉を求める決議が圧倒的多数で可決されています。向原さんは「みなさん、ともに手をたずさえて、肩を組んで、川内原発の再稼働阻止へ、追い込んでいこうではありませんか！」と力強く呼びかけました。
集会後は「原発やめろ」「再稼働するな」とプラカードを掲げて錦糸町駅近くの公園までデモ行進しました。

安倍政権が全国に先駆け再稼働を狙っている鹿児島県の川内原発。「9・28ストップ川内原発再稼働！全国集会」が開かれ、10月2日、さよなら原発・江東は、集会に参加したKさんを迎えて、三三報告集会を希望のまち東京東部事務所(東陽町)で開きました。Kさんが現地のたたかいなどを報告、原発を巡る諸問題について田中一郎氏(原子力資料情報室)が報告しました。

さよなら原発・江東 三三報告集会～川内原発 現地からの報告～

安倍政権が全国に先駆け再稼働を狙っている鹿児島県の川内原発。「9・28ストップ川内原発再稼働！全国集会」が開かれ、10月2日、さよなら原発・江東は、集会に参加したKさんを迎えて、三三報告集会を希望のまち東京東部事務所(東陽町)で開きました。Kさんが現地のたたかいなどを報告、原発を巡る諸問題について田中一郎氏(原子力資料情報室)が報告しました。



報告をする田中一郎氏

と意見が相次ぎました。九電前には、原発監視ネットが立てられ「再稼働阻止」を呼びかける発信拠点にしようという取り組みが始まっています。
推進派を追い込んでいくためには、議会の政党構成を変え反対派を増やすこと、反対署名も急いで集めようと2人の報告を聞き決意を新たにしました。

第41回 赤旗まつり
日時：11月1日(土)～3日(祝・月)
場所：夢の島公園
○江東テント開き 2日 13時～
みなさん、ぜひお越しください！